

(仮)リラクストド・パフォーマンス



事業概要

障害等を理由に、通常の劇場環境に馴染むことが困難な方やその家族が、よりリラックスした環境で鑑賞を楽しめるよう配慮した公演を行う。対象は障害者を中心とするが、幅広い方が鑑賞できる上質な舞台芸術を提供するとともに、劇場環境や料金設定を工夫することで、普段劇場に訪れることに対してハードルを感じておられる方も、鑑賞しやすい公演とする。

対象

障害者、生活困窮者、子育て世帯、高齢者等
※通常の劇場の公演環境に馴染めない方。特に障害者

目的、狙い

- ① 知的、精神、身体障害者で、通常の劇場環境に馴染めない方に向け、気軽に舞台芸術を鑑賞することができる機会を提供することで、誰もが文化に触れる機会の充実を図り、心の豊かさ及びふるさと意識の醸成をはかる。
- ② 誰にでも優しい劇場環境を創出し、障害者だけでなく、子育て世代、生活困窮者等に加え、一般の方にも鑑賞いただける公演とすることで、誰もが文化に触れる機会を充実させるとともに、配慮が必要な方への理解を広め、個々の多様性を受け入れる優しい社会づくりの一助とする。
- ③ 必要な配慮を劇場のスタッフが学ぶことにより、スタッフの育成および劇場利用者の利便性の向上を図る。

課題、検討する事項(例示)

- どのようなジャンルの公演が求められるだろう？
- 障害者や生活困窮者等それぞれ通常の劇場環境に馴染むことが難しい理由は何だろう？
- 障害者、乳幼児等の鑑賞に、必要な配慮はどのようなものがあるだろう？
- 一般の方に、障害者や乳幼児等に配慮した公演であることを理解して鑑賞してもらうには、どのような配慮がいるだろう？
- チケットの値段はいくらなら買えるだろう？
- ひとり親家庭、生活困窮者等で、通常の公演形態で鑑賞したい方への支援は、どのような方法があるだろう？
- 個々の多様性を受け入れる優しい社会づくりを進めるためには、あわせて実施できることはないだろうか？
- どのような広報をすれば来てもらえるだろう？

など

ワークショップのまとめ



ジャンル

ジャンル

- ・何がいか聞きに行く
- ・ジャンルは人により好みあり
- ・音楽、特に賑やかで体を使って楽しめるもの

プログラムづくり

プログラムづくり

- ・登録制にする
- ・通常公演の特定日を対象にする
- ・トリエンナーレ、ピエンナーレ
- ・プロデュース企画 ワークショップ
- ・ALAに学べ！
- ・文化は生きていくうえで必要

来場してもらう工夫

PR方法

- ・お互いが声をかけあって誘う
- ・あさイチに取り上げられる
- ・町内掲示板
- ・SNS
- ・チラシ
- ・〇〇に配慮した公演ということを理解してもらうより、この公演は自由に騒いでも大丈夫など具体的な内容を特徴としてPR

料金設定

- ・チケット 500円～1,000円
- ・500円
- ・料金はできるだけ安い方が良い
- ・投げ銭
- ・入場券をプレゼント
- ・スポンサーを開拓
- ・無料

必要な配慮

物理的配慮

- ・補聴器
- ・託児
- ・親子席 出入口
- ・送迎
- ・椅子などを準備
- ・ユニバーサルデザイン

鑑賞環境

- ・うるさくてもOK
- ・音、汚れ、走り回ってもOK
- ・大きい音 小さい音
- ・音響、照明、ワークショップ